



桑折町 歴史的風致維持向上計画

平成28年3月



計画策定にあたって



本町は、桜や紅葉が美しい半田山自然公園を抱える半田山、戦国時代の山城の史跡桑折西山城跡、擬洋風建築の重要文化財旧伊達郡役所があり、豊かな自然と歴史資源を有しております。また、日本三大鉱山の一つである半田銀山を管理する陣屋が置かれた桑折宿は、奥州・羽州街道が交わる交通の要所として古くから宿場町を形成し、伊達郡北部の政治・文化の中心地として栄えてきたことから、伝統文化や歴史的建造物が数多く残っており、それらが歴史的風致を形成し、桑折町特有の情緒や風情を醸し出しております。

近年、本町の良好な歴史資源を活かしたまちづくりを進めるため、町並みや歴史的建造物を活用した空店舗対策事業、地域資源を活用した回遊性向上事業や街道を活かしたイベント・シンポジウムの開催、地域学の入門書「桑折学のすすめ～郷土愛を育むために」の編集など、町民とともに様々な事業を行い、地域の活性化に努めてまいりました。

こうした中、社会環境・生活様式の変化、人口減少、少子高齢化などにより民俗芸能や伝統文化への関心が低下しており、また、空き家・空き店舗の増加によって良好な町並みを保つのが困難になりつつあります。さらには、東日本大震災により、歴史的建造物を含む多くの建物が被災し解体を余儀なくされ、後世に残すべき歴史的風致が、今まさに失われようとしております。

本町では未曾有の大震災を克服すべく、平成24年2月に「復興こおり創造プラン」を策定し、各種事業に取り組んでまいりましたが、皆さまのお力添えをいただき、ようやく復旧・復興を実感できるまでに至りました。今後は、復興のスピードを加速させ、地域創生の実現に向けた取り組みを進める必要があります。

そこで、歴史を活かしたまちづくりを進めるため、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき「桑折町歴史的風致維持向上計画」を策定しました。先人から代々受け継いできた、本町特有の情緒や風情を醸し出す歴史的風致は町民にとって「誇るべき宝」です。この貴重な宝を次世代に残すため、本計画の推進に取り組んでまいります。

結びに、本計画策定に際して、ご尽力いただきました桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会の皆さまを始め、歴史的風致の調査の際に快くご協力いただきました皆さま、そして多くのご指導を賜りました国・福島県・関係機関の皆さまに対し、心から御礼申し上げます。

平成28年3月

桑折町長 高橋 宣博

桑折町歴史的風致維持向上計画 目次

はじめに

1. 計画策定の背景と目的	1
2. 計画の期間	2
3. 計画の策定体制	2
4. 計画策定の経緯	5

第1章 歴史的風致形成の背景

1. 自然的環境	7
2. 社会的環境	13
3. 歴史的環境	21
4. 文化財等の分布状況	39

第2章 桑折町の維持・向上すべき歴史的風致

1. 伊達氏発祥の地にみる歴史的風致	49
2. 桑折宿と諏訪神社の夏祭りにみる歴史的風致	64
コラム① 奥州・羽州街道追分と街道を活かしたまちづくり	72
コラム② 7年に一度の御柱祭	73
3. 西根堰と水路網にみる歴史的風致	74
コラム③ 西根神社に祀られた佐藤新右衛門と古河善兵衛	83
コラム④ 西根堰ウォーク	83
4. 阿武隈川氾濫原と果樹栽培にみる歴史的風致	84
コラム⑤ 桑折町の流通の歴史	98
5. 半田の京都祇園囃子にみる歴史的風致	99
コラム⑥ 益子神社祭礼の入水行事	108

第3章 歴史的風致維持向上に関する方針

1. 歴史的風致の維持向上に関する課題	109
2. 上位計画と関連計画における関連性	114
3. 歴史的風致の維持向上に関する方針	122
4. 計画の推進体制	124

第4章 重点区域の位置及び範囲

1. 重点区域設定の考え方	125
2. 重点区域の位置及び範囲	127
3. 重点区域の歴史的風致の維持向上による効果	130
4. 良好な景観の形成に関する施策との連携	131

第5章 文化財の保存・活用に関する事項

1. 町全体に関する事項	137
2. 重点区域に関する事項	144

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

1. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する基本的な考え方	149
2. 歴史的風致維持向上に資する事業	151

第7章 歴史的風致形成建造物に関する事項

1. 歴史的風致形成建造物の指定の方針	170
2. 歴史的風致形成建造物の管理の指針	171
3. 歴史的風致形成建造物の指定候補	173

資料編	176
------------	-----

はじめに

1. 計画策定の背景と目的

本町は、福島県の中通り北端に位置し、北西部に桜や紅葉が美しい半田山自然公園を抱える半田山、南東部には南から東側に流れる阿武隈川に囲まれ、また、戦国時代の分国法として名高い「塵芥集」じんかいしゅうを制定した伊達植宗たねむねの居城である桑折西山城跡や、明治時代に建築された擬洋風建築の旧伊達郡役所などの豊かな自然・歴史的資源を持つ地域である。

江戸時代、日本三大鉱山の一つである半田銀山があったことから、桑折宿には幕府直轄領として陣屋が置かれ、周辺の村々を管理していた。また、東北地方の大名が参勤交代で通った奥州街道と羽州街道の分岐する「追分」があり、桑折宿には休憩所として本陣や脇本陣が置かれており、養蚕の本場であった周辺の村々から良質な蚕種などの物資が集まったことから、当時は多いに賑わっていたことが容易に想像できる。さらに、公益社団法人土木学会の選奨土木遺産である西根堰は、江戸時代に農業用水路として本町南西部から北東部へと町を横断するように整備され、肥沃な農地をもたらした。現在も本町の基幹産業である農業を支えており、美しい農山村の風景を引き継いでいる。

近年、本町の良好な歴史資源を活かしたまちづくりを進めるため、町並みや歴史的建造物を活用した桑折御蔵おんくらやまゆたま、小径整備事業や「羽州街道サミット」などの街道を活かしたイベント・シンポジウムの開催、地域学の入門書『桑折学のすすめ～郷土愛を育むために』の編集など、町民とともに様々な事業を行い、地域の活性化に努めてきた。

しかし、社会環境や生活様式の変化、人口減少、少子高齢化などにより民俗芸能や伝統文化の継承に今後支障が出るのが予想され、また、空き家・空き店舗の増加によって良好な街並みを保つのが困難になりつつある。さらに、平成23年(2011)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では震度6弱を観測し、歴史的建造物を含む多くの建物が被災し解体を余儀なくされた。また、東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故による放射能汚染からの地域住民避難の影響も大きく、民俗芸能・伝統文化の後継者たる壮年・若年層の人口が急減少しており、後世に残すべき歴史的風致が、今まさに存続の危機となっている。大震災からの復旧・復興を進め、本来あるべき町の姿を取り戻すためにも、どのように本町の良好な歴史的風致を維持・向上させるかが喫緊の課題となっている。

このような状況のなかで、本町では大震災からの復旧・復興を実現するため、平成24年(2012)2月に町総合計画である「復興こおり創造プラン」を策定し、復旧・復興を最優先事項として事業に取り組んできたが、大震災発生から5年が経過し、ようやく復旧・復興を実感するようになってきた。

これらを踏まえ、歴史を活かしたまちづくりを再開するに当たり、先人から受け継いでき

た桑折町の「良さ」・「らしさ」を再認識し、次世代に残すため、平成20年(2008)に制定された国土交通省、文部科学省、農林水産省の三省の共管による「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称:歴史まちづくり法)」に基づく歴史的風致維持向上計画を策定し、桑折町の歴史的風致の維持・向上を図ることによって、町全体が活性化することを期待するものである。

2. 計画の期間

本計画の期間は、平成28年(2016)度から平成37年(2025)度までの10年間とする。

3. 計画の策定体制

本計画の策定については、次項の体制で行った。

本計画の担当課である政策推進課(歴史まちづくり係)において作成した素案を基に、学識者や有識者などから構成される「桑折町歴史的風致維持向上計画作成委員会」において専門的な見地から素案へのアドバイスを受けながら、庁内の関係各課で構成する「桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議」において協議・検討し、計画案の作成を行った。

作成した案は、町民へのパブリックコメントを実施し、桑折町文化財保護審議会や桑折町都市計画審議会への報告、桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会(歴史まちづくり法第11条の法定協議会)における検討を踏まえ、町長による決定を行った。



■写真 作成委員会の様子



■写真 庁内推進会議の様子

① 桑折町歴史的風致維持向上計画作成委員会及び

桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会 (敬称略)

氏名	役職等	区分
◎岡田 清一	東北福祉大学大学院教育学研究科教授 (日本中世史)	学識経験者
○阿部 貴弘	日本大学理工学部准教授 (土木史、都市史、景観)	
伊藤 登	東京工業大学非常勤講師 (景観デザイン)	
仲田 茂司	史跡桑折西山城整備指導委員会副委員長 (考古学・造園)	
齋藤 隆夫	福島県建築安全機構理事 (歴史的建造物保存・修復)	
佐藤 伴美	無能寺住職	文化財所有者
吉田 良典	桑折町文化財保護審議会会長 (観音寺住職)	町内関係団体
鈴木 文夫	桑折町郷土史研究会会長	
神田 隆雄	桑折町都市計画審議会会長	
渋谷 浩一 (本間 健雄)	桑折町商工会長	
鈴木キヨ子	割烹仙台屋 (桑折町商工会婦人部)	
永尾慎一郎	国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所長	
諏江 勇 (木村 勝美)	福島県土木部まちづくり推進課長	
津田 正美	福島県教育庁文化財課長	
柳沼 政明	福島県県北建設事務所長	
渡邊 美昭	桑折町参事兼総務課長	

◎委員長、○副委員長、氏名の()書きは前任者

② 桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議

区分	職名
会長	副町長
副会長	教育長
委員	総務課長
	産業振興課長
	地域整備課長
	生涯学習課長

③ 協力機関（敬称略）

- ・国土交通省東北地方整備局建政部
- ・福島県土木部まちづくり推進課

④ 歴史的風致取材協力者（敬称略）

- ・伊達西根堰土地改良区
- ・桑折町文化財保存会
- ・桑折町祇園ばやし振興会
- ・桑折町夏祭り実行委員会
- ・諏訪神社（桑折地区）
- ・八幡神社（半田地区）
- ・益子神社（半田地区）

4. 計画策定の経緯

平成 26 年 6 月 25 日	庁内研修（講師：国土交通省東北地方整備局都市調整官）
平成 27 年 3 月 23 日	第 1 回桑折町歴史的風致維持向上計画作成委員会
平成 27 年 5 月 11 日	
～12 日	作成委員会・庁内推進会議の先進地視察（群馬県甘楽町）
平成 27 年 5 月 15 日	桑折町文化財保存会の総会において計画策定の経緯を説明
平成 27 年 6 月 19 日	第 1 回桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議
平成 27 年 6 月 24 日	第 2 回桑折町歴史的風致維持向上計画作成委員会
平成 27 年 9 月 2 日	第 3 回桑折町歴史的風致維持向上計画作成委員会
平成 27 年 9 月 15 日	第 2 回桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議
平成 27 年 9 月 28 日	第 3 回桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議
平成 27 年 10 月 6 日	第 4 回桑折町歴史的風致維持向上計画作成委員会
平成 27 年 10 月 28 日	第 4 回桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議
平成 27 年 11 月 2 日	
～12 月 1 日	計画素案に対する町民意見募集（パブリックコメント）の実施
平成 27 年 11 月 20 日	桑折町文化財保護審議会（報告、意見聴取）
平成 27 年 11 月 24 日	桑折町都市計画審議会（報告、意見聴取）
平成 27 年 12 月 22 日	第 5 回桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議
平成 27 年 12 月 22 日	第 1 回桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会
平成 28 年 2 月 15 日	第 6 回桑折町歴史的風致維持向上計画庁内推進会議

桑折町歴史的風致維持向上計画_はじめに

平成 28 年 2 月 26 日 政策会議にて計画決定

平成 28 年 2 月 26 日 桑折町歴史的風致維持向上計画 認定申請